

トピックス

・「Junko Fukutake Hall」がオープン 人が集う場に

福武教育文化振興財団副理事長の福武純子氏の寄付で本学鹿田地区に完成した「Junko Fukutake Hall」（通称：Jホール）のオープニング式典が11月10日、同ホールで開催されました。

Jホールは、建築界のノーベル賞と称されるプリツカー賞を受賞し、仏・ルーブル美術館別館などを手がけた建築家ユニット「SANAA（サナア）」の設計。白を基調としたガラス張りの開放的なホールで、大きく張り出した軒が建物内と外の間領域を作り、四方に広がっていく空間が特徴です。

式典には、福武氏をはじめ大森雅夫岡山市長、「SANAA」の妹島和世氏、西沢立衛氏、森田学長ら約150人が出席し、同ホールの完成を喜びました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id2950.html



・「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」に採択

文部科学省の革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）に、本学の「アドバンスドナノカーボン複合構造材料研究開発センター」（研究リーダー：松浦宏治・大学院医歯薬学総合研究科講師）が採択されました。中核拠点を金沢工業大学が担い、本学と独立行政法人物質・材料研究機構がサテライトとして分担します。

COI STREAMは、申請総数190件から12件が採択され、拠点当たり年間最大10億円程度の研究開発費を最長9年度支援。世界市場にインパクトを与える成果を持続的に創出することを目指しています。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id2913.html

最近の大学の取組

・「学長と若手教員との対談」を開催

本学は、学生や若手教職員の意見を大学運営に反映し、地域・社会から必要とされる大学に発展していこうと11月7日、「学長と若手教員との対談」を開催しました。7研究科と岡山大学病院、資源植物科学研究所、異分野融合先端研究コアから若手教員10人が参加。森田潔学長と教育や研究等の様子、普段感じていることなどについて率直に意見交換しました。

若手教員らは研究内容やマスメディアを通じた研究成果の発信、自らの考える岡山大学の問題点について、日ごろの悩みや課題を訴えました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id2934.html



・生殖補助医療技術教育研究センターを開設

本学は、不妊治療に携わる生殖補助医療技術者（胚培養士）のキャリア養成、リカレント教育を実施する国際的教育研究拠点として、生殖補助医療技術教育研究（ART）センターを開設しました。センター設置によって、胚培養士の国家資格化に耐えうる高度で綿密な教育体系の構築と、すでに社会で活躍している胚培養士へのリカレント教育の充実を図ります。

参考 <http://www.okayama-u.ac.jp/user/artcent/index.html>

最近注目の研究

・数層グラフェンのパリティ効果（偶奇性）を実験的に解明

大学院自然科学研究科地球生命物質科学専攻の後藤秀徳助教、久保園芳博教授らの研究グループは、数層グラフェンの電子の性質が奇数層と偶数層とで決定的に異なることを実験的に明らかにしました。

本結果は、奇数層グラフェンが単層グラフェンと同様に質量ゼロのキャリアを持つことを意味し、グラフェンを使う超高速・低電力消費のデバイスへの応用の可能性に期待がもたれます。本研究成果は、2013年10月10日に米国化学会発行の『Nano Letters』オンライン版に掲載されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id114.html

・腹膜透析・腹膜癒着に対する新細胞治療の開発

岡山大学病院の喜多村真治講師（腎臓・内分泌・代謝内科学）、大学院医歯薬学総合研究科の榎野博史教授（腎・免疫・内分泌代謝内科学教室）らの研究グループは、腎不全代替療法の一つである腹膜透析に対して、腹膜中皮細胞を選別・細胞移植することにより細胞治療効果が異なることを発見しました。

本研究成果は、2013年9月5日、国際医療工学系の科学雑誌『TISSUE ENGINEERING PART A』に掲載されました。今後、本研究成果を元に、腹膜透析や腹膜癒着などの腹膜障害に対し新たな治療開発がなされると期待されます。

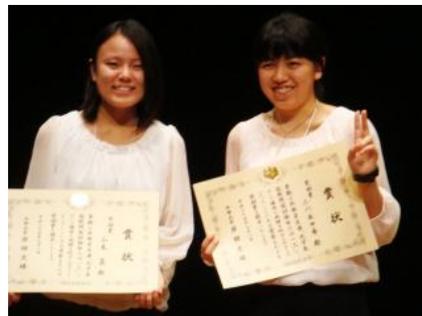
参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id109.html

学生の活躍

・「大学生国際討論会 2013」で本学学生が奨励賞を受賞

日本の外交政策や国際情勢に対する関心と理解を深めることを目的に9月8日、東京で開催された「大学生国際問題討論会 2013」（外務省主催）の本戦に、グローバル人材育成特別コースの小川未由季さん（法学部1年）と山本蒼さん（同）が出場。見事、奨励賞を受賞しました。

本戦に出場したのは、応募された全国の37チームから書類選考による事前審査を突破した、本学を含む上位4チーム。『日本政府は、日・ASEAN関係強化のために、ASEAN各国から積極的に労働者を受け入れるべきである』を論題とし、各チームが肯定側と否定側の立場で、白熱した討論を展開しました。小川さんと山本さんは、文献やインターネットを通じて国際問題について知識を深めたり、多くの教員から指導を受け、約2カ月間、討論会に向けて準備。本番では、日ごろの学習成果を存分に発揮し、堂々と討論を行いました。



参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id2894.html

行事予定

- ・生殖補助医療技術教育センター キックオフシンポジウム 12月22日（日）13:30～ Jホール
- ・埋蔵文化財調査研究センター特別展示 2月7日（金）～23日（日） 岡山シティミュージアム

岡山大学は、以下のページでも情報を発信しています

- ・岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>
- ・岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>
- ・岡山大学 Twitter https://twitter.com/okayama_uni
- ・岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学総務・企画部 企画・広報課

Tel : 086-251-7293, 7292 Mail : www-adm@adm.okayama-u.ac.jp